



日本の恐竜② ニッポノサウルス



(参考) ニッポノサウルスと同じ
ハドロサウルス科の
むかわ町穂別産恐竜のおおよその
大きさ

ニッポノサウルスの化石
(北海道大学総合博物館蔵)

ニッポノサウルス全身骨格図

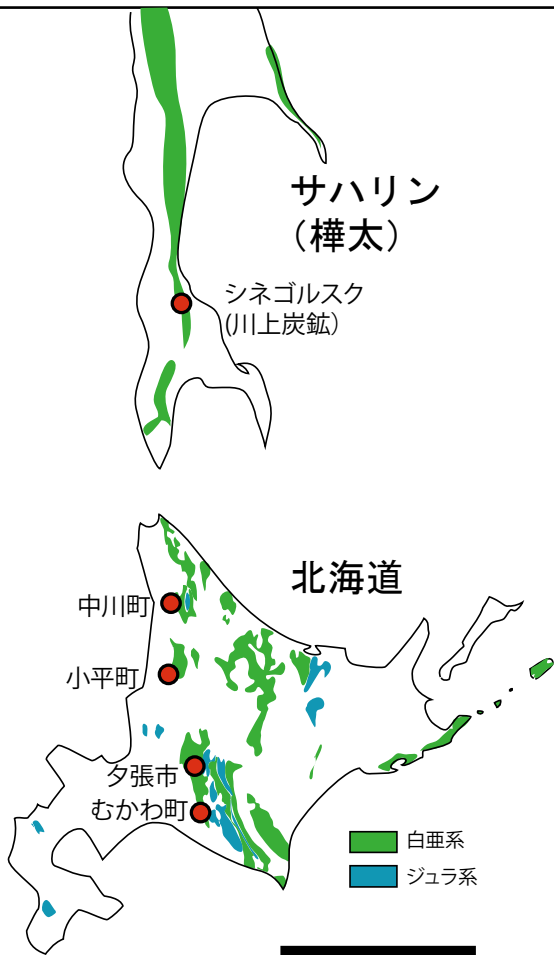
写真：北海道大学総合博物館提供

鳥盤目 鳥脚亜目 ハドロサウルス科
ランベオサウルス亜科
ニッポノサウルス・サハリエンシス
Nipponosaurus sachalinensis Nagao, 1936
サハリン シネゴルスク
蝦夷層群ブイコフ層
白亜紀サントニアン期後期～カンパニアン期前期
(約 8,400 万～ 8,200 万年前)

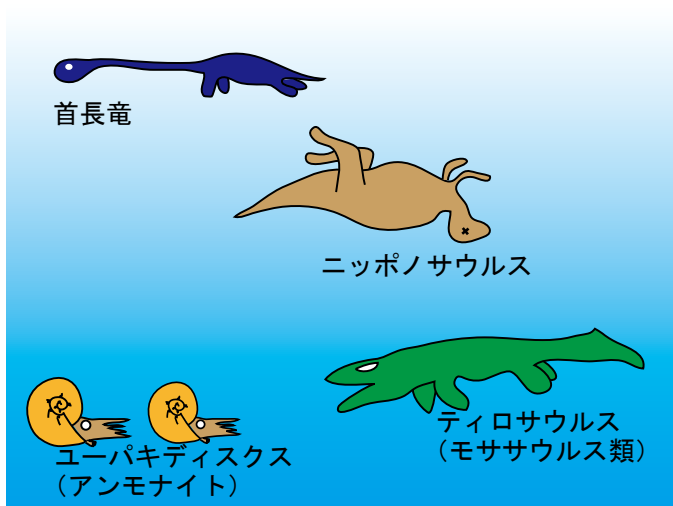
ニッポノサウルスは、むかわ町穂別産の恐竜と同じ鳥盤目鳥脚亜目ハドロサウルス科の恐竜です。全長は4 m弱で亜成体(大人になっていない成長段階)であることが分かっています。1934年に当時日本領であった南樺太の川上炭鉱(サハリンのシネゴルスク)から発見されました。日本で最初に発見されただけでなく、全身の約6割の化石が発見されていることから、日本の恐竜としては非常に有名

です。日本竜という愛称が付けられ、日本最高の恐竜化石とも言われています。南樺太は、日本領でなくなったため、ニッポノサウルスは日本の恐竜とはみなされないこともあります。

むかわ町穂別産の恐竜は、ニッポノサウルスの約2倍の大きさ(全長約8 m)と推定されています。これはハドロサウルス科としては通常程度の大きさです。



200 km
北海道とサハリンの恐竜産地



ニッポノサウルスが海に流されたようす

ニッポノサウルス産地からはアンモナイトが産したという情報のみしか残されていません。イラストは同時代の生き物です。

ニッポノサウルスが産出したのは蝦夷層えぞ そうぐん群グイコフ層じょうぶ きくせき そうぐん (上部菊石層群〔旧称〕)の上部です。詳細には調べられていませんが、ほぼ確実に海成層かいせいそう (海でたまった地層)から産出していると見られます。このことと、化石の産状さんじょうから、ニッポノサウルスも死後すぐに沖合いの海まで流されて化石になったと考えられます。

ニッポノサウルスが海に流された原因などは明らかにされていませんが、ニッポノサウルスが産出した地点の地層を調べなおすことで、その事実に近づける可能性もあります。ニッポノサウルスは、1934年の病院建設時にその敷地内から発見され、発掘後にその地点は病院の下敷きになりました。

ところが、1993・1994年の日本人調査団による地質調査では、病院の建物は取り壊されたらしく見当たりませんでした。さらに、地元で当時のことを知る人がいなかったため、病院が建っていた正確な位置が分からなかったそうです*。そのため、ニッポノサウルスが産出したシネゴルスク内での地点が現在は不明となっています。

参考文献ほか

Shigeta Y. and Maeda, H. eds. 2005. *The Cretaceous System in the Makarov area, Southern Sakhalin, Russian far east*. National Science Museum Monographs, No. 31, 138p.
Suzuki, D., Weishampel, D. B., and Minoura, N. 2004. *Nipponosaurus sachalinensis* (Dinosauria: Ornithomoridae): Anatomy and systematic position within Hadrosauridae. *Journal of Vertebrate Paleontology*, vol. 24, p. 145-164.
*前田晴良私信, 2016.
Nagao, T. 1936. *Nipponosaurus sachalinensis*: a new genus and species of trachodont dinosaur from Japanese Saghalien. *Journal of Faculty of Science of Hokkaido Imperial University, Series 4*, vol. 3, p. 185-220.
Nagao, T. 1938. On the limb-bones of *Nipponosaurus sachalinensis* Nagao, a Japanese hadrosaurian dinosaur. *Annotationes Zoologicae Japonenses*, vol.17, p. 311-317.
根本要, 1974. 日本竜の発掘。郷土の風土記, 第5巻, 第3号, p. 98-103.

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

観覧料 個人 / 小~高校生: 100円

大人 300円

団体 / 小~高校生: 50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

2016年6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2016年7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日 ○町民無料観覧日

